

富田小学校 一年間の取り組み

～地域の温かさの中に生きる富田っ子～

書きやすく実践しやすい指導案の開発

- STEAMを実践するにあたって、授業者が実践を整理しやすく、また参観者が単元や授業のねらいについて想像しやすくなるような視覚的な指導案の開発を行った。

第4学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 安富 あゆみ

1. 単元 地域の方々に元気と笑顔を! ~『銀の鈴』笑顔満開計画~

2. 単元目標

- 福祉施設は、どんな人がどのように利用しているかなどを調べ、地元の介護施設「銀の鈴」の利用者や職員の方々の願いを知る。 【知識・技能】
- ◎ 「銀の鈴」の願いを実現するために自分達にできることを実行したり、経験を基に、もっと笑顔になってもらえるプログラムを考えたりすることができる。 【思考力・判断力・表現力】
- 『銀の鈴』笑顔満開計画を通して思いやりの心を育み、今後の学習や生活に生かすことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性】

3. 指導にあたって

【児童の実態】

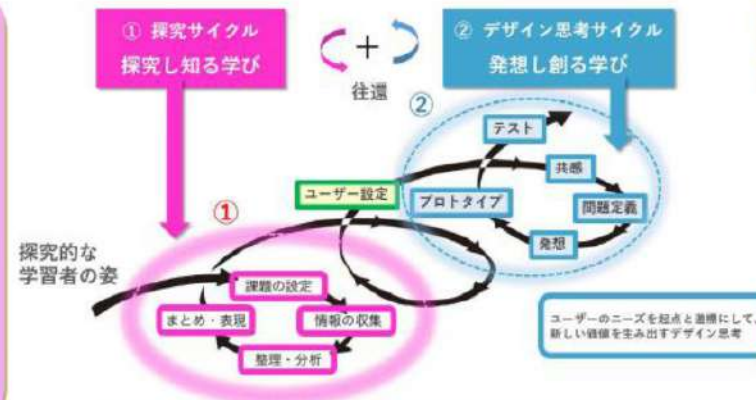
- ・絵を描いたり製作したりすることが好き。
- ・男子は、幼く、女子は、もめごとが多い。
- ・相手意識不足、自己中心的になりがち。
- ・人間関係が固定化している。
- ・コロナ禍により交流の機会が少ない。

【課題の設定】

- ・多くの人とつながり、喜んでもらえることをしよう。
- ・全校生や地域の方々など、だれもが幸せになる(福祉)ために、自分たちができることを考えよう。

【情報の収集】

- ・福祉って何だろう。
- ・地元の福祉施設を調べよう。
- ・「銀の鈴」ってどんな人が利用していて、どんなことをしているのかな。
- ・自分達にできることを、聞いてみよう。



【ユーザー設定】
地元の福祉施設「銀の鈴」

【銀の鈴の職員の方のニーズ】

- ・コロナ禍で外部との交流がほとんどない。
- ・子ども達と交流し、利用者になんか元気になってほしい。
- ・マンネリ化している体操やゲームをリニューアルしたい。

【「銀の鈴」訪問計画】
 多機能ホーム班・グループホーム班
 ゲーム・紙芝居・ぬり絵・歌など

【「銀の鈴」を訪問】
 ・施設見学
 ・利用者の方々と交流

【問題定義・発想・プロトタイプ】

- ・交流して感じたことを出し合う。
- ・「笑顔満開計画」をふり返り、さらに喜んでもらえることを計画する。
- ・「～したい」を形にする。

【「銀の鈴」笑顔満開計画パート2】
 ・いつでも自分たち自身で笑顔になってもらうためには…

4. 単元計画

時	学習活動	主な評価基準 他教科・STEAM教育との関連
第一 次 つか もう (1)	<p>見通しをもとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの実態を話し合い、思いやりの心を育むためにも、福祉の学習をすることを考える。 ・ 福祉とは何かを考え、「地元の福祉施設の方々を笑顔によう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。 	<p>【知】福祉とは何か、現在の実情や課題を理解している。(SDGs等)</p> <p>【態】見通しをもち、自分たちに出来ることを考えようとしている。</p>
第二 次 や っ て み よ う ・ 深 め 合 お う (9)	<p>「銀の鈴」笑顔満開計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「銀の鈴」は、どんな方が入居されていて、どんなことをしている施設かなどを調べる。 ・ 銀の鈴の職員の方々に、自分たちが出来るようなアドバイスをもらい、準備をする。 <p>〈多機能ホーム班〉 ・ 多機能ホーム・グループホームにわかれているんだね。 ・ 座ったままで出来るゲームの方がよさそうだ。 ・ ゲームができない人には、歌をうたってあげたり一緒に絵を描いてあげたりしたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「銀の鈴」を訪問する。 	<p>【知】認知症や要介護など利用条件や介護施設の特色を知っている。</p> <p>【思】職員の方々のアドバイスを参考に、利用者に喜んでもらえるゲームを協力して考えている。 ①⑤④</p> <p>【態】自分の体験を基に課題を明確にし、次の活動に生かそうとしている。</p>
第三 次 広 げ よ う (5)	<p>『銀の鈴』笑顔満開計画を立て直そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験を踏まえ、自分たち自身でも笑顔になってもらえるようなプログラムを考える。 ・ 『銀の鈴』笑顔満開計画パート2』を提案する。 ・ 感想を聞いたりお礼の手紙を書いたりする。 ・ 自分や友達の成長をふり返る。 	<p>【思】ニーズに合わせた持続可能なプログラムを考えている ①⑤④</p> <p>(国) 感謝の気持ちを伝えよう (図) カードで伝える気持ち</p>

5. 本時の目標と展開

学習活動	教師の支援 ◇評価 ☆「～のために」の意識づけ
<p>◎「銀の鈴」訪問のふり返りを通して、『銀の鈴』笑顔満開計画』を分析した上で、「もっと〇〇のために～したい。」を話し合い、今後の活動への意欲をもつことができる。</p> <p>1. 課題を確認する。</p> <p>「銀の鈴」訪問をふり返り、『銀の鈴』笑顔満開計画』を分析しよう。</p> <p>2. グループ毎のふり返りを伝え合い、『銀の鈴』笑顔満開計画』を分析する。</p> <p>〈多機能ホーム班〉 ・ 得点のゲームは喜んでもらえる。 ・ もっと点数を分かりやすくしよう。</p> <p>〈グループホーム班〉 ・ ペーパーサートが見えにくかった。もっとゆっくり話さないと伝わらない。</p> <p>〈歌・体操〉 ・ 歌はとても感動してくださった。 ・ 富田ヨガを教えてあげたいな。</p> <p>☆経験を基に、「もっと〇〇のために～したい。」を話し合おう。</p> <p>3. 経験を踏まえて、今後の活動を考える。</p> <p>・ 富田ヨガを教えてあげたいな。 ・ もっと分かりやすい遊びやゲームを調べてみよう。</p> <p>4. 本時のふり返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「銀の鈴」訪問をふり返り、課題をはっきりさせることで、次の活動へつなげるための時間であることを確認する。 ・ 今後の課題をはっきりさせるためにグループ毎に整理した良かった点や困った点を伝え合わせる。 ・ 違うグループの様子が伝わりやすいように交流時の画像を提示する。 ・ それぞれのグループの共通点や相違点を問うことで、全体としての課題点を明確にする。 ・ 職員の方の感想を伝えることで、ニーズに合わせて交流することの大切さに気付くようにする。 ☆「みんなが訪問していない時でも、笑顔になってもらうためには…」と問いかけ、自読可能な交流を意識させる。 ◇銀の鈴訪問のふり返りを通して、『銀の鈴』笑顔満開計画』を分析し、今後の活動への意欲をもつことができたか。

4年生「地域の方に笑顔と元気を！ 銀の鈴笑顔満開計画」



【1学期】
地域の高齢者のために
交流の内容を考えよう



【1学期～3学期】
福祉の考え方を
1年間学んだよ
写真は年間の振り返りの授業



【3学期末】
これまでの福祉を学んだ
「今なら」できる交流を提
案しよう

6年生「富田ヨガを広めよう」の取り組み ユーザーを絞ったヨガの改良

こども園の子のために

富田っ子が受け継いでできた
ヨガの良さを改めて見つめよう
そして、広めよう

全校生に向けて
集中・姿勢を意識した
ヨガを



お世話になっている
ワッショイさんのために



5年生「富田の青大豆を広めよう」の取り組み

富田の作物が給食に出て
いないらしい...
探して、アピールしよう



青大豆のお味噌
というのがあるらしい
作ってみよう



青大豆やそのお味噌って
どんな味かな？
みんなで食べてみよう

足立醸造の方の話を
聞いてみよう



栄養教諭の先生にアピール
して給食に出してもらおう

3年生 「米作り」の取り組み ～環境体験事業と組み合わせて～

種もみまき



田植え



稲刈り



脱穀



玄米試食



お家の方に食べてもらおう

富田小学校の取り組み

- 富田小学校の校区には目立った会社や有名な観光地は見られない。しかし、**地域の温かさ**を感じる場面がたくさんある。
- 学校の取り組みに対して協力的な地域とのつながりの中で富田小学校は成り立っている。その中で、**地域の縦横のつながりが強い富田地区**だからこそその**地元愛**に囲まれた取り組みができるのである。

